

人はなぜ、 それを未来に残すのか デジタルアーカイブの 夢と、権利、法

子どもの頃に遊んだゲーム、絶版のマンガ、昔みた番組、舞台、消えた街並み……。そうしたものを集め、整理・修復し、オンラインで公開する電子博物館。それがデジタルアーカイブです。人々はなぜ、「それ」を未来に残そうとするのか。活気に包まれるさまざまなデジタルアーカイブの活動の現状と、著作権などの法的な課題を共に学びます。

4月24日(水) 16:30~18:00

事前申込制

URLまたはQRコードからお申し込みください

<https://bit.ly/3TECrir>

受付開始: 4月1日(月)午前10時~

※申込先着順で定員になり次第締め切ります。

対象: 塾生・教職員

※無料/事前登録

※申込者多数の場合は、塾生を優先します。



福井健策



弁護士 (日本・ニューヨーク州)

日本大学芸術学部・神戸大学大学院・情報経営イノベーション専門職大学 (iU) ほか客員教授

1991年 東京大学法学部卒。1993年 弁護士登録 (第二東京弁護士会)。米国コロンビア大学法学修士課程修了 (セゾン文化財団スカラシップ)、シンガポール国立大学リサーチスカラーなどを経て、現在、骨董通り法律事務所代表パートナー。著書に「改訂版 著作権とは何か」「誰が『知』を独占するのか」(集英社新書)、「エンタテインメントと著作権」全5巻 (シリーズ編者、CRIC)、「エンタテインメント法実務」(編著・弘文堂)、「18歳の著作権入門」(ちくまプリマー新書)、「AIがつなげる社会」(弘文堂)ほか。内閣府・文化庁ほか委員、デジタルアーカイブ学会理事、緊急事態舞台芸術ネットワーク 常任理事・政策部会長、EPAD代表理事、クリエイターエコノミー協会監事、日本文学振興会評議員などを務める。

講師: 福井 健策

弁護士 (日本・ニューヨーク州)

日本大学芸術学部・神戸大学大学院・情報経営イノベーション専門職大学 (iU) ほか客員教授

場所: 日吉キャンパス来往舎1階シンポジウムスペース

対象: 塾生・教職員

※無料/事前登録

※申込者多数の場合は塾生を優先します。

問い合わせ: toiawase-lib@adst.keio.ac.jp